

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月21日

計画の名称	安芸市災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	安芸市												
計画の目標	本計画は、大地震時に災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の変動・被災状況を把握するため、国土交通省「大規模盛土造成地の活動崩落対策推進ガイドライン」を基本に、安芸市内における大規模盛土造成地の調査を実施し、大規模盛土造成地の位置等の公表により、住民の宅地災害に対する関心を高め、早期対応等による被害の防止・軽減につなげることを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4.4		R5.3
1	第二次スクリーニング計画を計画・公表し、地域住民の関心を高める。 対象地について、webページ等により住民の周知度を100%にする。 公表箇所／対象地	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	安芸市	直接	安芸市	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査（安芸地区、伊 尾木地区）	基礎資料整理・現地踏査・優 先度評価（N=7箇所）	安芸市	■					5	—	
												小計						5	
											合計						5		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 社会資本総合整備計画の事後評価として安芸市で実施	事後評価の実施時期 令和5年7月
公表の方法 ホームページで公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地について、対象地の変動予測調査（基礎資料整理、現地踏査、優先度評価）を実施し、第二次スクリーニング計画を作成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

作成した第二次スクリーニング計画に基づき、第二次スクリーニングの実施を検討していく。
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公表箇所/対象地	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%